プレミアム花壇部門

総 評

審査は、7月28日に行いました。

酷暑の中現地審査に行くと、夏の花々が彩り良く元気に咲き、葉の色も濃く、草勢が良く栽培管理が大変行き届いていることが分かりました。そこには適期播種、土づくり、品種選定と組み合わせ、適期植栽、灌水等、長年の経験や栽培管理技術やノウハウがあつてのことと感じました。活動により、夏場でも花壇を通して地域との交流が工夫して行われていました。

プレミアム花壇を参考にされる数多くの方に対して、「毒のない植物」「高温や乾燥に強い植物」「生態系に影響を及ぼさない植物」を選ぶことを意識して、お勧めできる植物を選んでいただきたいと思えます。

最優秀賞評

射水市の「小杉花作り同好会」の花壇が4年連続最優秀賞を受賞しました。花壇の素晴らしさはもちろんのこと、地域の幼稚園児、デイサービス利用者などと連携し種ダンゴ作りから植栽まで行う、ポケット花壇と称した参加型花壇の取り組みも評価され、区画ごとに違う草花に変化がありました。

メイン花壇は広い面積を活用して、背面に草丈の高い樹木や宿根草のほかカラーリーフや高低差のある一年草を植栽してありました。全ての草花の開花が揃い、花色と草丈のバランスが見事で立体的にも見ごたえのある花壇でした。道行く車でさえ、つい目を引かれる美しい花壇は圧巻でした。灌水や花がら摘みなど日々の管理も徹底され、担当されている皆さんの熱意を感じられました。

(審査委員長 舘 睦美)